

小さな実績の積み重ね

設計段階におけるC I Mは、品質を向上させながら施工や管理段階での効果的な活用を念頭に、効率よくデータを構築して受け渡す事が重要である。多様な主体による議論と協働により生み出された小さな実績の積み重ねがC I M推進における一番の近道と考える。C I Mの推進により生産性や品質が向上し、その結果、技術者の生活にゆとりが生まれ、さらにより設計成果につながる。われわれは今その流れの起点を担っている。今後も取り組みを継続する事で

C I M導入のハードルが下がり、建設業界に広く普及するであろう。更にC I MモデルをV R化する事でさまざまな住民サービスや教育資料にも利用できる可能性も秘めている。失敗を恐れず活用の幅を広げたい。(技術統括部技術企画部技術企画室係長)



大日本コンサルタント
神原 由紀氏

建設工業新聞2018年3月30日掲載